

低分子フコイダンを中心とした癌の総合医療臨床報告

Clinical improvement in cancer patients through integrative medicine,
mainly low molecular weight fucoidan

西本 真司

西本第2クリニック

I report the cases of various cancer patients treated with alternative therapies, mainly treatment with low molecular weight fucoidan. There data show that low molecular weight fucoidan is useful to treat cancer patients.

【目的】

モズク由来の低分子フコイダンとビタミン，ミネラル，アミノ酸，酵素入り低分子水溶性サプリメント等を中心とした代替医療で，平成15年3月から平成16年7月まで来院の65名の癌，肉腫，多発性骨髄腫等難治性疾患の治療実績を呈示する。

【方法】

性別，年齢，診断からの年数，原発部位，病期別の患者数，治療効果についてのデータを解析した。男性は26名，女性は39名。年齢は20～80歳代で60歳代が24名と最も多かった。診断からの年数は3年までが49名と最も多く，10年以上は5名いた。原発部位は胃（13名），大腸（9名），乳房（8名），その他（35名）。病期はⅠ期（11名），Ⅱ期（8名），Ⅲ期（5名），Ⅳ期（37名）であった。

【結果】

評価としては腫瘍抑制効果，腫瘍免疫の改善，QOLの改善等61%の症例に何らかの改善傾向が見られた。

【結論】

低分子フコイダンを中心とした治療法は癌の補助療法として有効であると示唆された。